

筑波大学比較・理論文学会 令和二年度活動報告

(以下の報告は2021年3月1日現在のもの)

◎令和二年度筑波大学比較・理論文学会年次大会
2021年2月13日 Zoomによるオンライン開催

◆特別発表

佐藤 憲一 (東京理科大学理工学部 准教授)
『『白鯨』なんかこわくない』

◆研究発表

- ・ 齋藤 一 (筑波大学人文社会系 准教授)
「『The Atomic Bomb: The Impressions of the Doomed Day, Aug. 6th., at Hiroshima』——清水春雄のWillard C. Floyd 宛書簡 (1946年3月25日) について」
- ・ 賈 戈輝 (人文学学位プログラム 文学サブプログラム 博士後期1年次)
「牛島春子の植民地文学における自己言及性について」
- ・ 王 刊 (文芸・言語専攻 総合文学領域 3年次)
「格非の初期作品におけるカフカ受容に関する考察」

◎中間評価論文請求論文発表会

2021年1月14日 Zoomによるオンライン開催

王 刊 (文芸・言語専攻 総合文学領域 3年次)
「格非作品におけるアヴァンギャルド性の変遷—安倍公房作品との比較を通じて—」

◎博士学位論文請求論文発表会

2021年1月19日 Zoomによるオンライン開催

ヴァン・ロメル・ピーテル (文芸・言語専攻 総合文学領域5年次)
「明治後期における日本文学と教育との関係 — 「田舎教師」の時代—」